

2023年度(令和5年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	86.05	11.63	2.33	0.00
女子	65.79	15.79	15.79	2.63

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	84.09	6.82	9.09	0.00
女子	58.97	30.77	5.13	5.13

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	45.65	45.65	6.52	2.17
女子	41.46	41.46	12.20	4.88

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	14.85	17.44	28.41	38.93	43.33	9.36	153.80	19.84	49.84
女子	16.07	17.54	33.50	41.03	30.59	9.86	147.18	13.98	53.00

県平均値(R5)かつ全国平均値(R5)未満

重点課題および要因

情意面

【重点課題】  
・「運動やスポーツをすることは好きですか」「体育の授業は楽しいですか」という質問に対する否定的な回答が多い。(特に女子がどちらも10%以上と多い)

【要因】  
・体を動かすことの楽しさや良さを感じておらず、意欲的に取り組めていない児童が多い。

体力面

【重点課題】  
・男女ともに県平均値と比較して、「長座体前屈」(男子:-5.94 女子:-4.67)「20mシャトルラン」(男子:-3.42 女子:-6.26)において、大きく下回っている。

【要因】  
・運動をする機会が少ない児童が多い。その結果、経験不足や機能低下につながっている。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ①授業の中に遊びの要素を含む運動を取り入れることで、意欲を向上させたり、苦手意識を取り除いたりする。
- ②児童が自ら、「選ぶ」「考える」「決める」機会を設けることで、主体性を高める。
- ③運動量の確保をすることで、経験を増やし機能や体力の向上に努める。
- ④授業の中で「柔軟」や「走る遊び」等を取り入れ、継続的に体力の向上を図る。

体育の授業以外で行う取組内容

- ①体育委員会を中心に、楽しみながら体力の向上を図ることのできる取組を通年で行う。(なわとび朝会、おにごっこ遊び、〇〇大会等)
- ②教員間で、実践の交流を積極的に行う。
- ③隙間時間や家庭で、気軽にできる体操や柔軟を紹介し、普段から自主的に運動をする児童を育てる。また、家庭とも連携することで学校と家庭で 共通意識をもつ。

2024年度(R6年度)の重点目標値

- ・「運動やスポーツをすることは好きですか」「体育の授業は楽しいですか」という質問に対する否定的な回答を、両方男子5%以下、女子10%以下にする。
- ・体力テストにおいて、男女ともに「長座体前屈」と「20mシャトルラン」を県平均以上にする。
- ・県平均を上回る種目を、男女ともに5種目以上にする。